



統計図



石垣市は1市2町、10の有人島からなる八重山諸島の拠点であり、沖縄県第2位(229.15km²)の面積を有する石垣島と尖閣諸島で構成された日本最南端の自然文化都市です。県内最高峰の於茂登岳(526m)を中心に、八重に連なる山々を背にして、南には平坦地が広がっています。そこには四方に河川が発達し、湾岸・半島・岬など、豊かな自然環境がさまざまな風景を織りなしています。



市のシンボル



市花

サキシマツツジ



市魚

ハマフエフキ



市蝶

オオゴマダラ



市鳥

カンムリワシ



市木

ヤエヤマコクタン



市貝

クロチョウガイ



市星

南十字星



特産品

石垣牛



八重山上布



八重山ミンサー

泡盛



八重山かまぼこ



工芸品



海産物



フルーツ



関連都市

親善都市	岡崎市（愛知県） 昭和44年2月提携	「人が輝く、活気に満ちた、美しい都市岡崎」を都市像に環境にも配慮したまちづくりを行っている。	
友好都市	稚内市（北海道） 昭和62年9月提携	日本列島の最南端と最北端に位置し、産業形態が同じで、平和で豊かなまちづくりを進めている。	
	北上市（岩手県） 平成26年1月提携	平成5年、岩手県は記録的冷害に見舞われ、当時岩手県の農政部長 高橋洋介氏の指揮により、種もみ緊急増殖事業を石垣市で実施、翌年見事事業が成功。高橋氏が北上市出身ということもあり、スポーツ、文化面等において交流を開始。	
姉妹都市	蘇澳鎮（台湾） 平成7年9月提携	台湾北東部蘭陽平原の南端に位置し、公害のない工業を推し進め、冷泉地区を中心とした観光にも力を入れている。	
	カウアイ郡（米国ハワイ州） 平成11年10月提携	太平洋の中央に位置するハワイ諸島の一つで、大自然の景観美で知られている。	
ゆかりのまち	上板町（徳島県） 平成12年10月提携	同町出身の中川氏が明治 26 年に石垣市において行ったサトウキビ栽培が縁で交流が開始。	

統計から見た市民の暮らし【市民生活】

総人口

(住民基本台帳 令和5年12月末現在)



50,176人

1世帯あたりの人員

(住民基本台帳 令和5年12月末現在)



1.9人

総事業所数

(令和3年経済センサス活動調査)



3,566ヶ所

総従業者数

(令和3年経済センサス活動調査)



22,991人

交通事故発生状況

(令和5年)



4日に1件

火災発生状況

(令和5年)



15日に1件

汚水処理人口普及率

(令和5年3月末現在)



100%

医療施設数

(令和5年12月末現在)



79ヶ所

病床1床あたり市民数

(令和5年12月末現在)



96.5人

市民1人あたりの公園面積

(令和5年12月末現在)



48.3m²

医師1人あたりの市民数

(令和4年12月末現在)



412.6人

教員1人あたりの小中学校児童数

(令和5年学校基本調査)



10人

消防職員1人あたりの市民数

(令和5年12月末現在)



749人

市職員1人あたりの市民数

(令和5年4月1日現在)



90人

議員1人あたりの市民数

(令和5年12月末現在)



2280.7人

市民1人あたりの年間所得

(令和3年度 沖縄県市町村民経済計算)



2,060,000円

市民1人あたりの歳入

(令和5年度 決算)



742,491円

市民1人あたりの市税負担金

(令和5年度 決算)



138,241円

※小数点第一、二位以下については、四捨五入している。
※上記数値は、令和5年度時点の値もしくはその時点で入手できた最新の値である。



統計から見た市民の暮らし【石垣市の1日（令和5年）】



出 産



1.1人

死 亡



1.5人

結 婚



0.9組

離 婚



0.3組

転 入



11.8人

転 出



9.6人

1人あたり平均配水量



516ℓ

八重山病院救急受診件数



57.7件

石垣空港乗降客数



7,155人

ゴミの廃棄量



56.0 t

し尿処理量



51.5kℓ

救急車出勤数



9.7件

刑法犯罪件数



0.9件

市立図書館貸出利用者数



174.3人

名誉市民



故 大濱 信泉 氏

(昭和42年4月24日表彰)

明治24年10月石垣市登野城で出生。昭和29年9月早稲田大学総長。昭和51年2月正三位勲一等旭日桐花大綬章受章。昭和51年2月逝去。



故 鎌倉 芳太郎 氏

(昭和52年10月22日表彰)

明治31年10月香川県氷上村長生で出生。昭和32年紅型型紙600点を沖縄に返還。紅型技法保存、育成に貢献。昭和58年8月従五位勲四等旭日小授章受章。昭和58年逝去。



故 宮良 長包 氏

(平成4年7月10日表彰)

明治16年3月石垣市新川で出生。明治45年1月、教育唱歌に関する論文「唱歌題目について」を発表。昭和11年作曲集「琉球の新民話」を出版。昭和14年逝去。



故 喜舎場 永珣 氏

(平成4年7月10日表彰)

明治18年7月石垣市登野城で出生。大正13年「八重山民謡誌」を出版。昭和29年「八重山の歴史」を出版。昭和43年石垣市自治功労賞受賞。昭和44年勲四等瑞宝章受章。昭和46「八重山古謡」で柳田賞受賞。昭和47年逝去。



玉那覇 有公 氏

(平成9年7月10日表彰)

昭和11年石垣市大川で出生。昭和36年城間栄喜氏に師事。昭和38年独立し、古典柄を中心に制作。昭和45年の沖典に初出品以来、各工芸展で受賞歴多数。平成8年、国指定重要無形文化財紅型保持者“人間国宝”に認定(紅型分野で初)。平成10年紫綬褒章受章。



故 宮良 當壯 氏

(平成13年7月10日表彰)

明治26年石垣市大川で出生。大正8年國學院大學に進学し、方言学や民俗学を学ぶ。国際音声記号を用いて全国方言調査研究に従事。その研究業績が認められ文学博士の学位を受ける。日本の方言研究に先駆的な業績を残した。昭和39年逝去。



故 岩崎 卓爾 氏

(平成13年7月10日表彰)

明治2年宮城県仙台市で出生。石垣島測候所の新設に伴い赴任。テンブヤーヌウシュマイ(天文屋の御主前)として住民に慕われた。八重山の自然生態や歴史、民俗に対し強い関心を持ち、十数種の生物の新種を発見しイワサキの名が献名されている。南島研究の先駆者として活躍。昭和12年逝去。



故 宮城 信勇 氏

(平成24年7月10日表彰)

大正9年石垣市新川で出生。地道に八重山に関する資料の収集・研究に精励した。消滅が危惧された石垣方言の記録に情熱を燃やし、30年以上の歳月をかけ「石垣方言辞典」を刊行した。本土復帰への大きなうねりの中、昭和43年から琉球政府企画局長を務め、行政においても大きな足跡を残している。令和元年9月逝去。



市民栄誉賞



具志堅 用高 氏

(昭和54年1月27日表彰)

昭和30年石垣市新川で出生。昭和51年10月10日、グスマン(ドミニカ)と対戦し、7回KOで世界ジュニアフライ級チャンピオンのタイトル獲得。昭和55年10月12日、ペドロ・フローレスと対戦し、判定勝ちで13回目の防衛を達成。平成23年石垣市観光大使に任命される。平成26年国際ボクシング名誉の殿堂“オールドタイマー部門”選出。



故 比屋根 毅 氏

(平成9年7月10日表彰)

昭和12年石垣市登野城で出生。東京、ヨーロッパで菓子修行を積み、昭和41年に独立。わが国の洋風工芸菓子の精巧な作品をはじめ新しい食文化の創造発展に尽力。全国に事業展開。平成22年秋の叙勲旭日双光章受章。平成24年ベルギー王国の発展に貢献した人物に授与されるレオポルド2世勲章(中でも民間人に授与される最高位“コマンドール章”)を受章。令和2年6月に逝去。



夏川 りみ 氏

(平成17年8月6日表彰)

昭和48年石垣市大川で出生。平成元年に「星 美里」としてプロデビュー。平成14年には「涙そうそう」で日本レコード大賞金賞を受賞し、同曲でNHK紅白歌合戦に初出場。沖縄民謡・楽曲を主にした歌謡曲で、石垣市を全国にPRしている。平成23年石垣市観光大使に任命される。



茅原 南龍 氏

(平成21年7月10日表彰)

昭和14年石垣市新川で出生。日展では昭和59年以後、入選30回を数え、平成15年には特選受賞(全部門を通して沖縄県史上初)。昭和60年に茅原書藝會を設立、多くの門下生の指導育成に尽力。平成24年文化庁長官表彰(沖縄県書道史上初)。平成27年沖縄県功労者表彰。平成28年春の叙勲 旭日双光章受章。



BEGIN

比嘉 栄昇 氏・上地 等 氏・島袋 優 氏

(平成24年7月10日表彰)

昭和61年民法番組「いかすバンド天国」でブランドキングになり、平成2年「恋しくて」でデビュー。平成12年にBEGINとして発表した「涙そうそう」は多数の音楽家らにカバーされ現在も歌いつがれる名曲となる。ブルースから島唄まで幅広い音楽性と温かいサウンドで、多くのファンを魅了している。平成14年、15年のNHK紅白歌合戦に連続出場した。平成23年に石垣市観光大使に任命される。平成28年日本レコード大賞企画賞受賞。



新城 幸也 氏

(平成25年7月10日表彰)

幼少期から父貞美氏と共に自転車競技を究めるべく日々鍛錬に励み、プロロードレーサー福島晋一氏に才能を見出され、平成15年に渡仏。平成21年にツール・ド・フランスへ出場し日本人初完走。平成22年にはジロ・デ・イタリア、ツール・ド・フランスに出場し、日本人初のグランツール二大会出場の快挙を果たす。2012年ロンドン五輪では、沖縄県出身者初となる個人ロードレース出場。同年、3度目のツール・ド・フランスに出場し日本人初のステージ敢闘賞受賞。



平良 海馬 氏

(令和4年1月5日表彰)

平成29年、県立八重山商工高等学校よりドラフト4位で埼玉西武ライオンズに入団。令和2年、中継ぎ投手として抜群の成績を残し、パ・リーグ新人王に選出。令和3年、「開幕からの連続試合無失点記録」及び「1シーズンの連続試合無失点記録」の2つのプロ野球新記録を樹立。同年開催された東京2020オリンピックでは野球競技の日本代表に選出。石垣市出身者として初の金メダリストとなった。



沖縄県内市町村ランキング

面積ランキング

(令和6年1月1日現在)

1位	竹富町	334.39 km ²
2位	石垣市	229.15 km ²
3位	名護市	210.80 km ²
4位	宮古島市	203.90 km ²
5位	国頭村	194.85 km ²

(国土地理院：全国都道府県市区町村別面積調べ)

人口ランキング

(令和6年1月1日現在)

1位	那覇市	315,485 人
2位	沖縄市	142,283 人
3位	うるま市	126,515 人
4位	浦添市	115,545 人
5位	宜野湾市	100,322 人
⋮		
10位	石垣市	50,191 人

(沖縄県企画部市町村課：住民基本台帳人口・世帯数)

市町村内総生産ランキング

(令和3年度)

1位	那覇市	13,162 億円
2位	浦添市	3,992 億円
3位	沖縄市	3,306 億円
4位	うるま市	2,902 億円
5位	宜野湾市	2,099 億円
⋮		
8位	石垣市	1,765 億円

(令和3年度沖縄県市町村民経済計算)

財政力指数ランキング

(令和4年度)

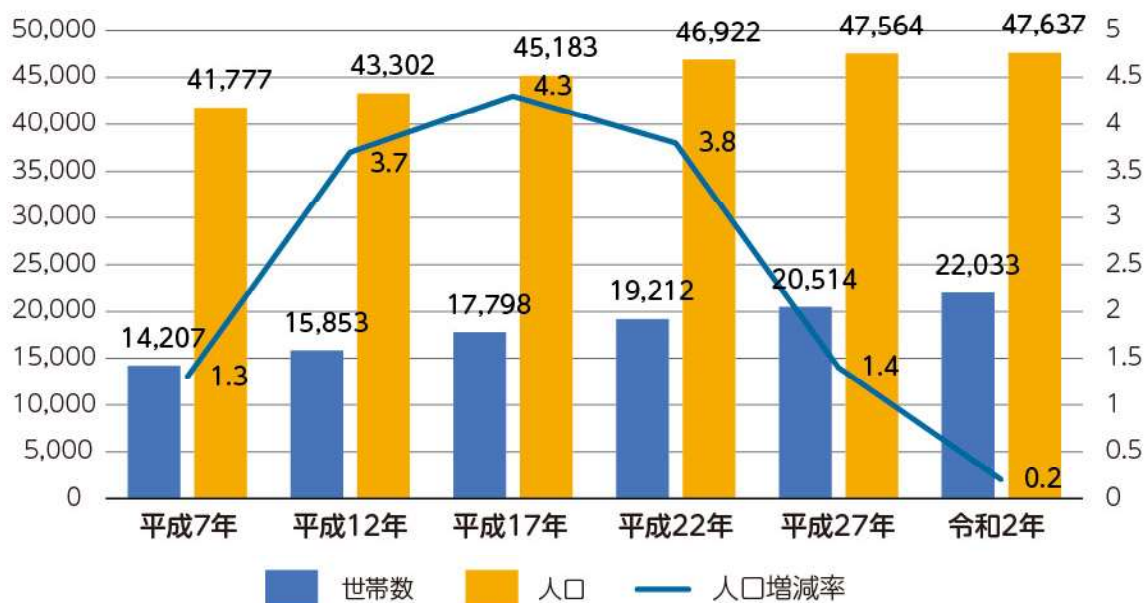
1位	那覇市	0.84
2位	北谷町	0.80
3位	浦添市	0.79
4位	宜野湾市	0.66
5位	北中城村	0.65
⋮		
17位	石垣市	0.46

(令和6年3月版沖縄県市町村概要)

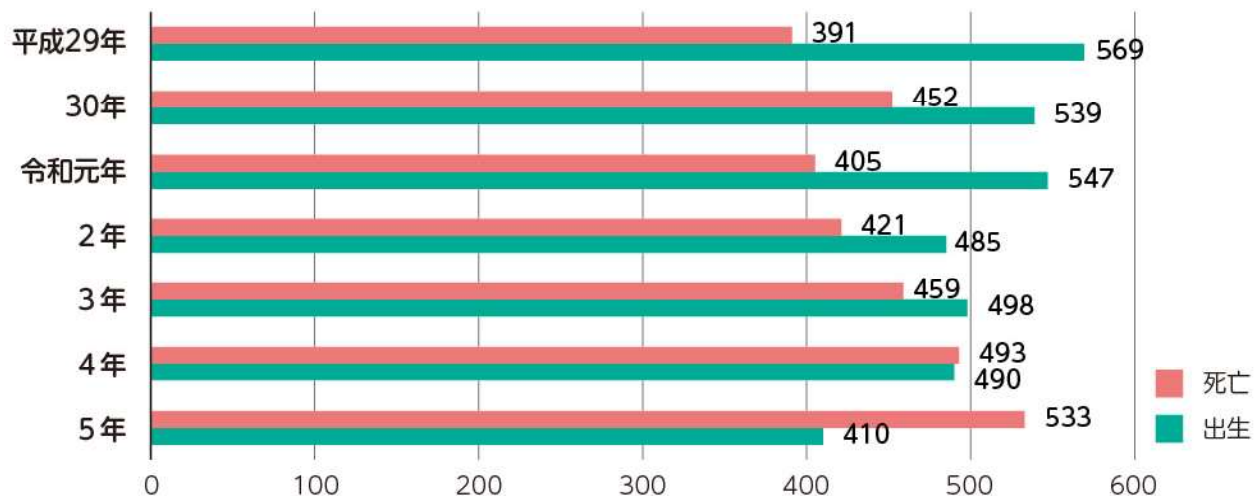


グラフで見る石垣市

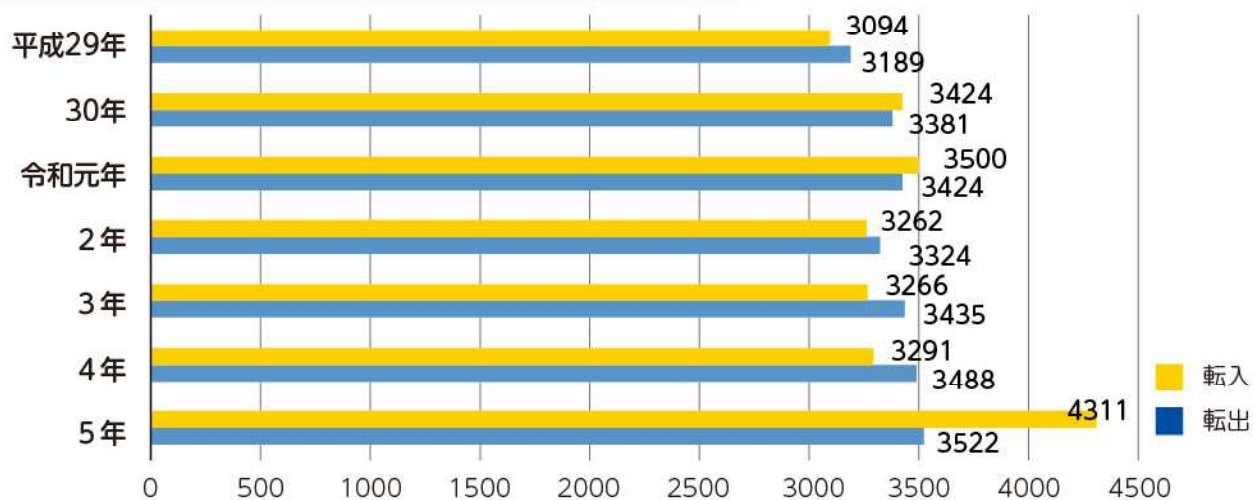
国勢調査人口の推移



自然動態



社会動態



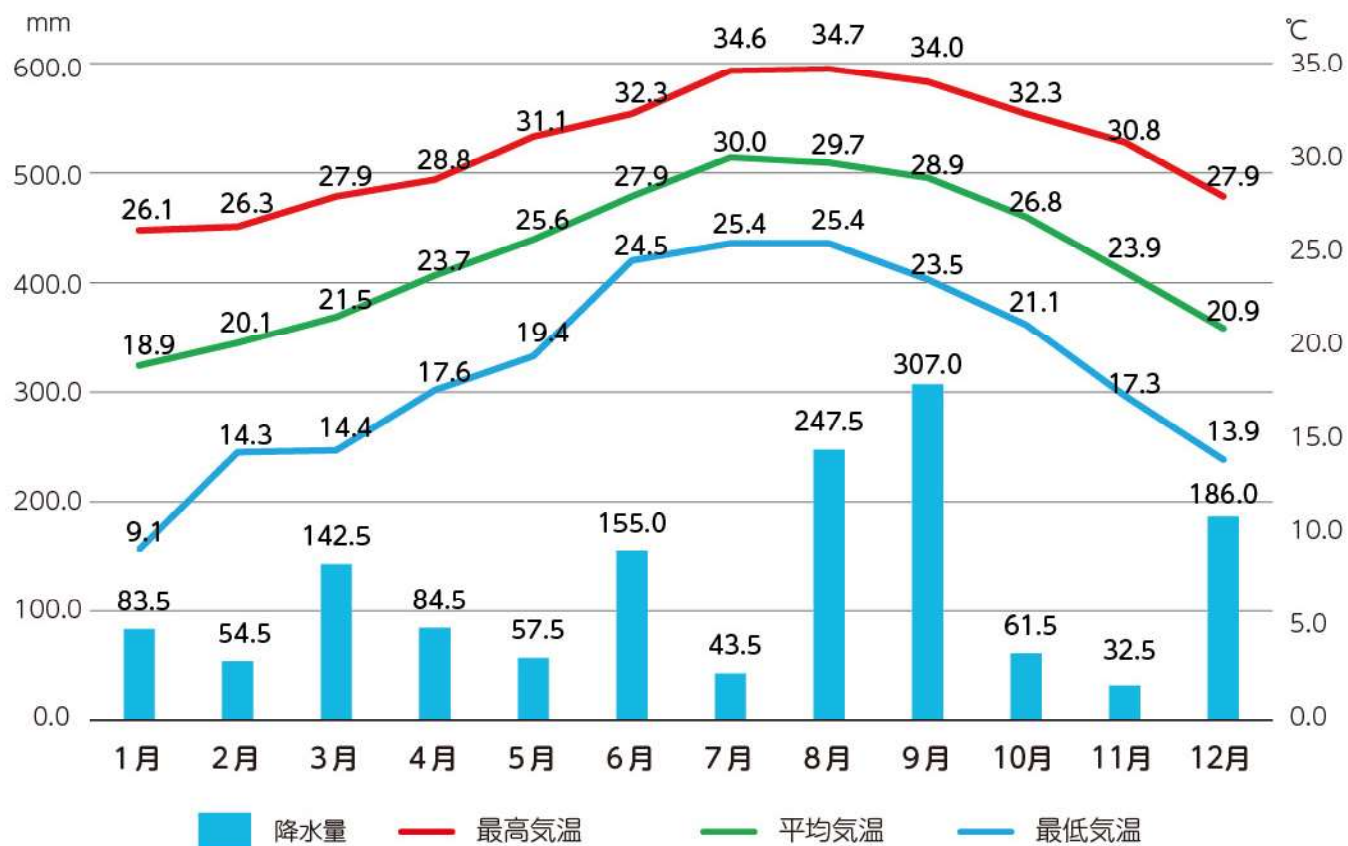
人口の年齢構造（令和6年3月末現在）



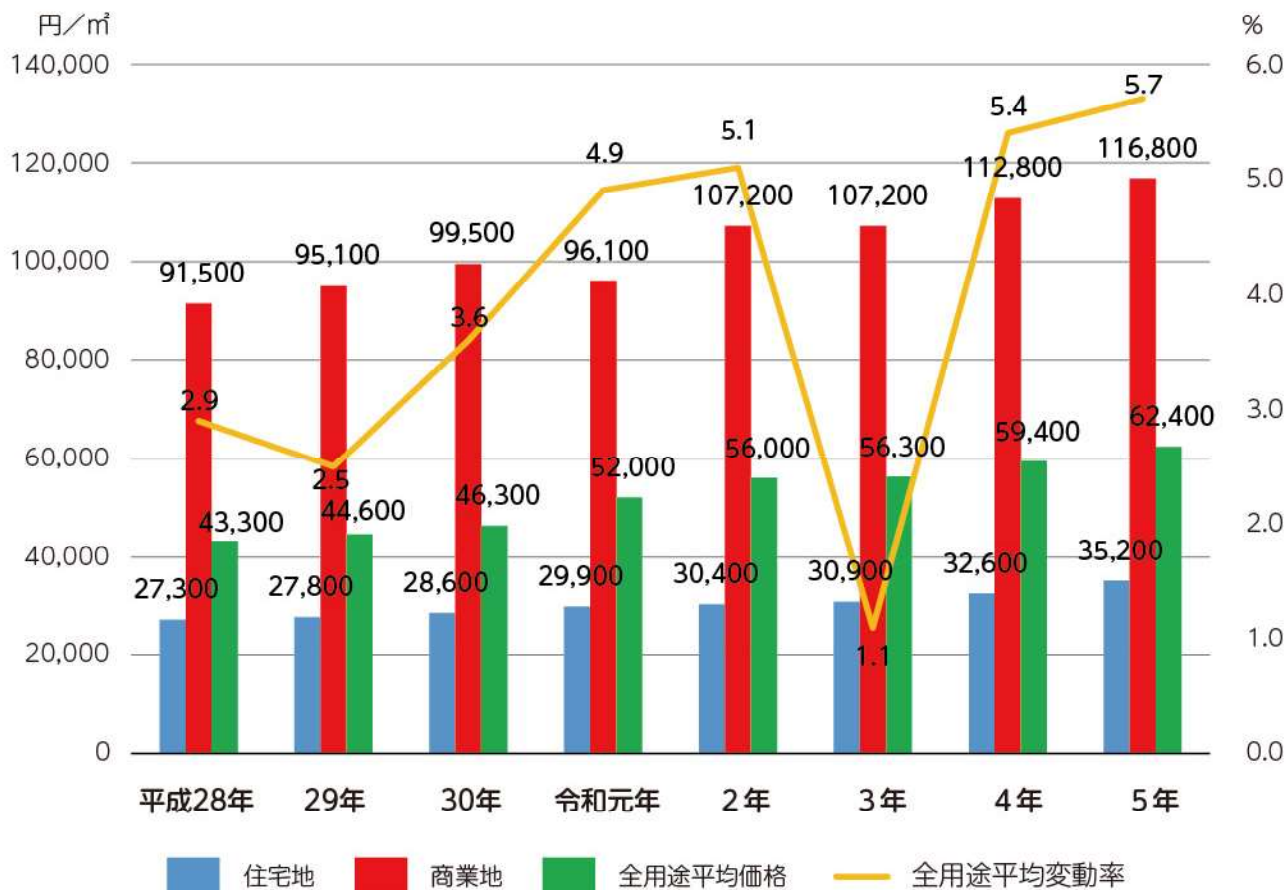
人口ピラミッド（令和6年3月末現在）



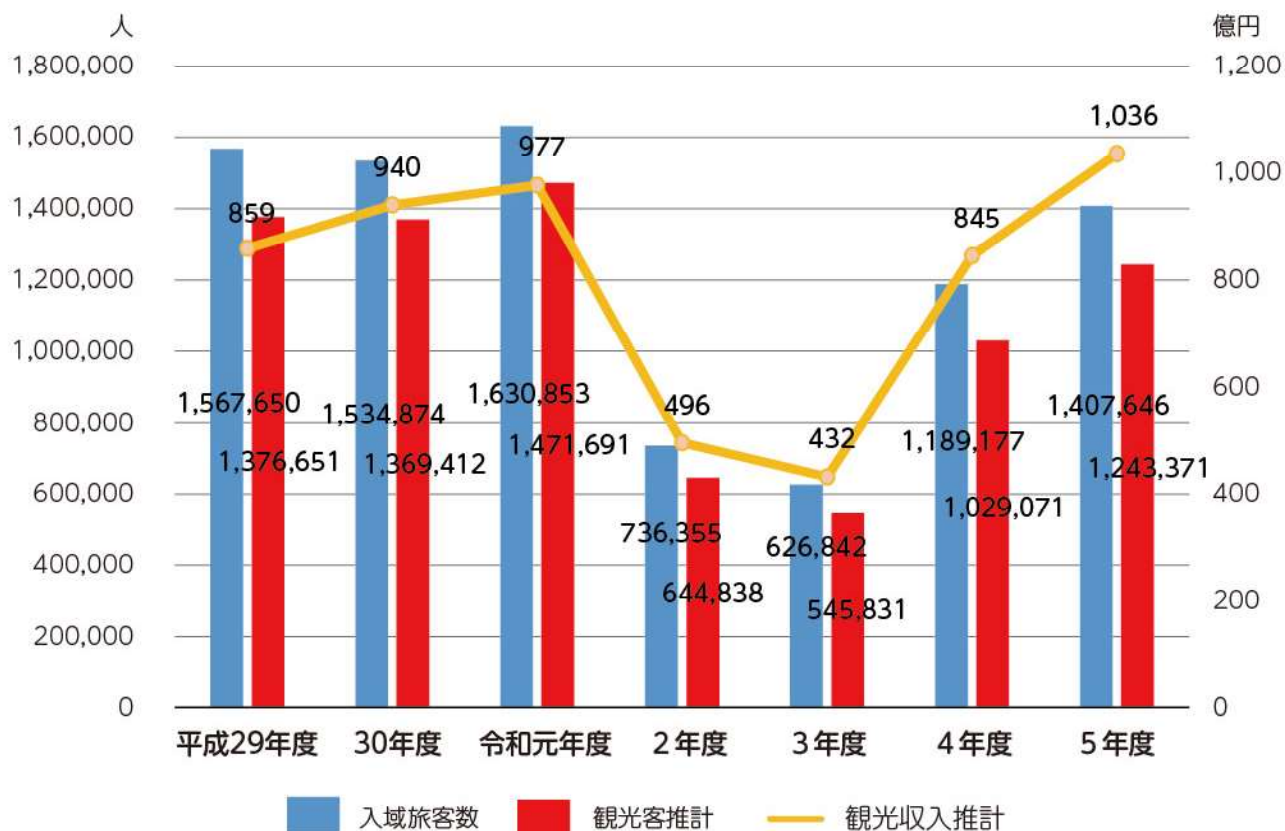
気象（令和5年12月末現在）



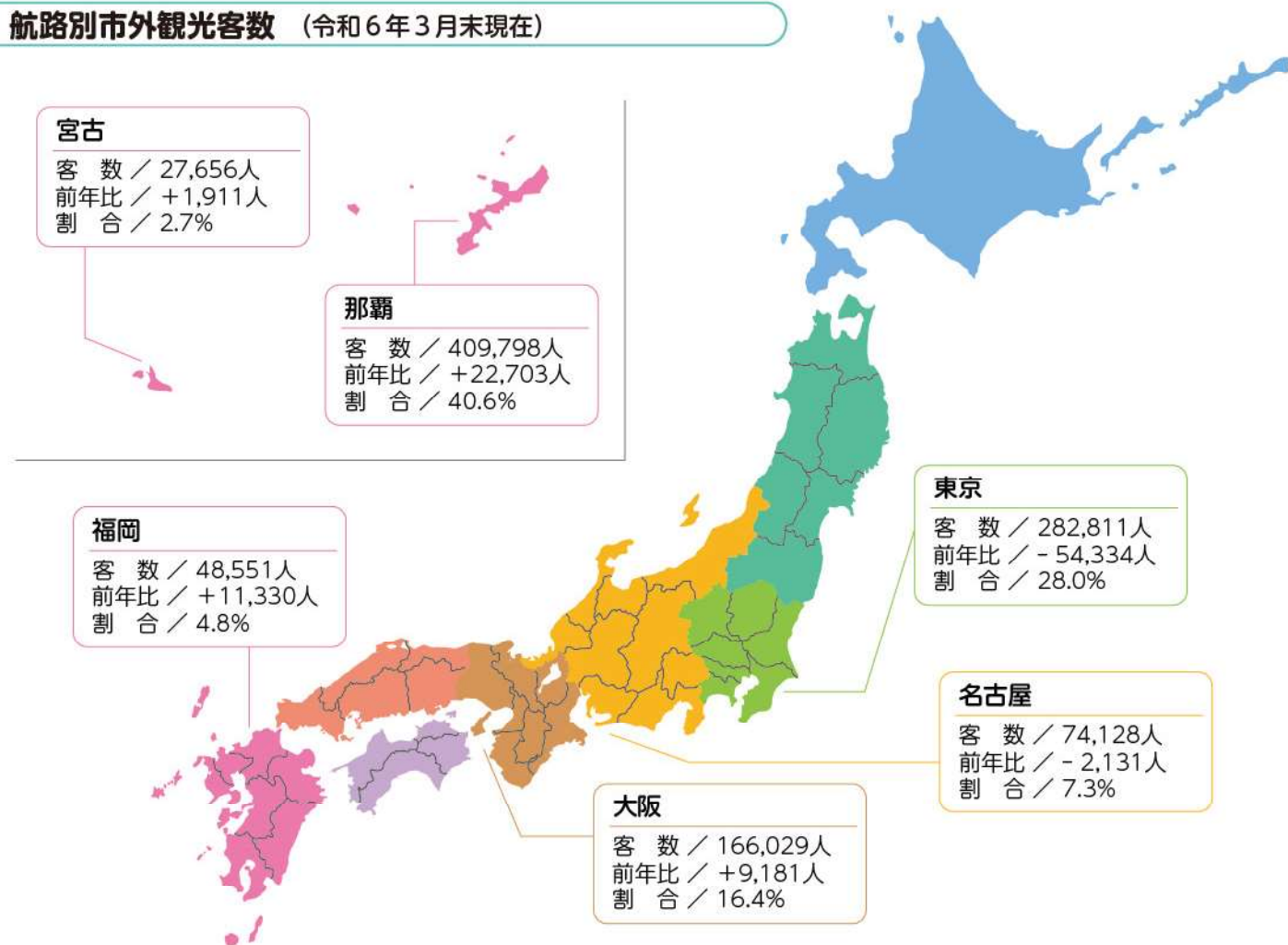
地価用途別平均価格及び平均変動率（各年7月1日現在）



入域旅客数及び観光客の推移（各年度3月末現在）

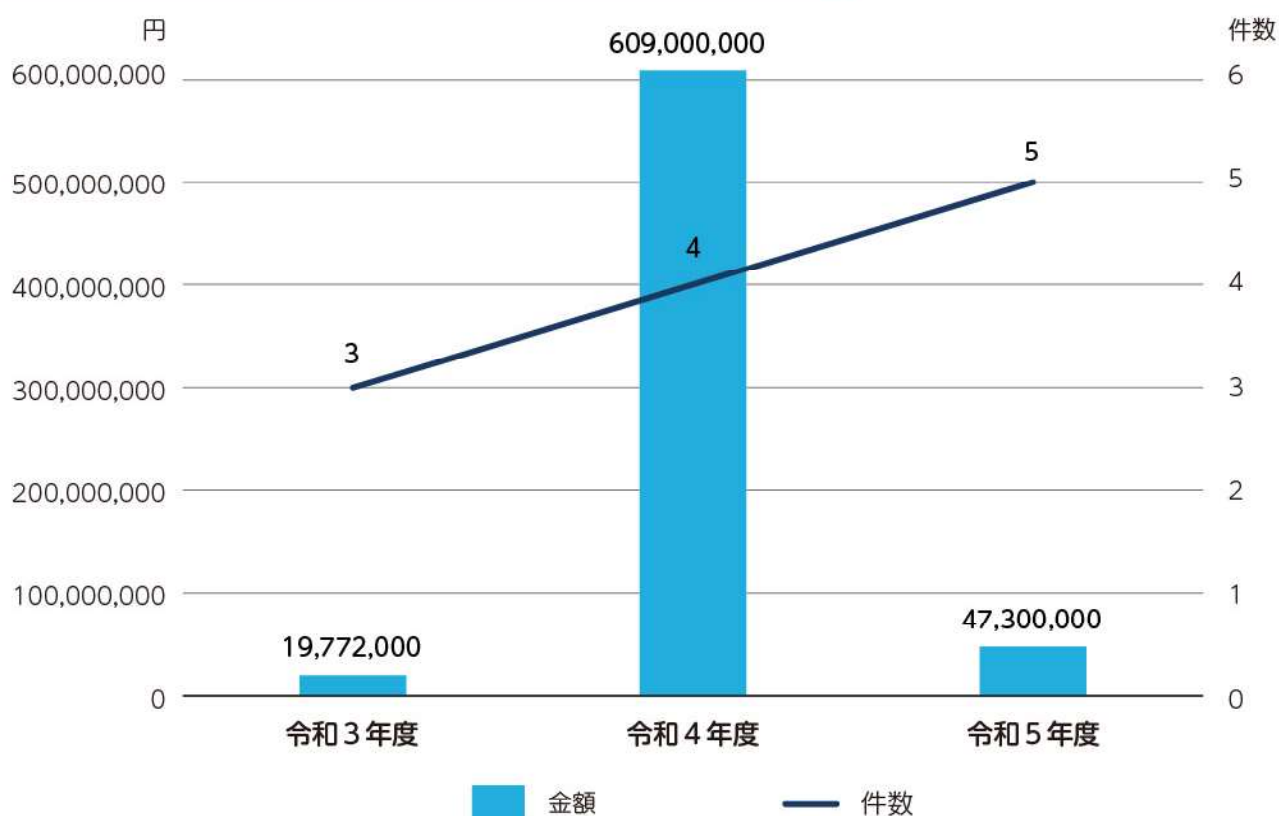


航路別市外観光客数（令和6年3月末現在）

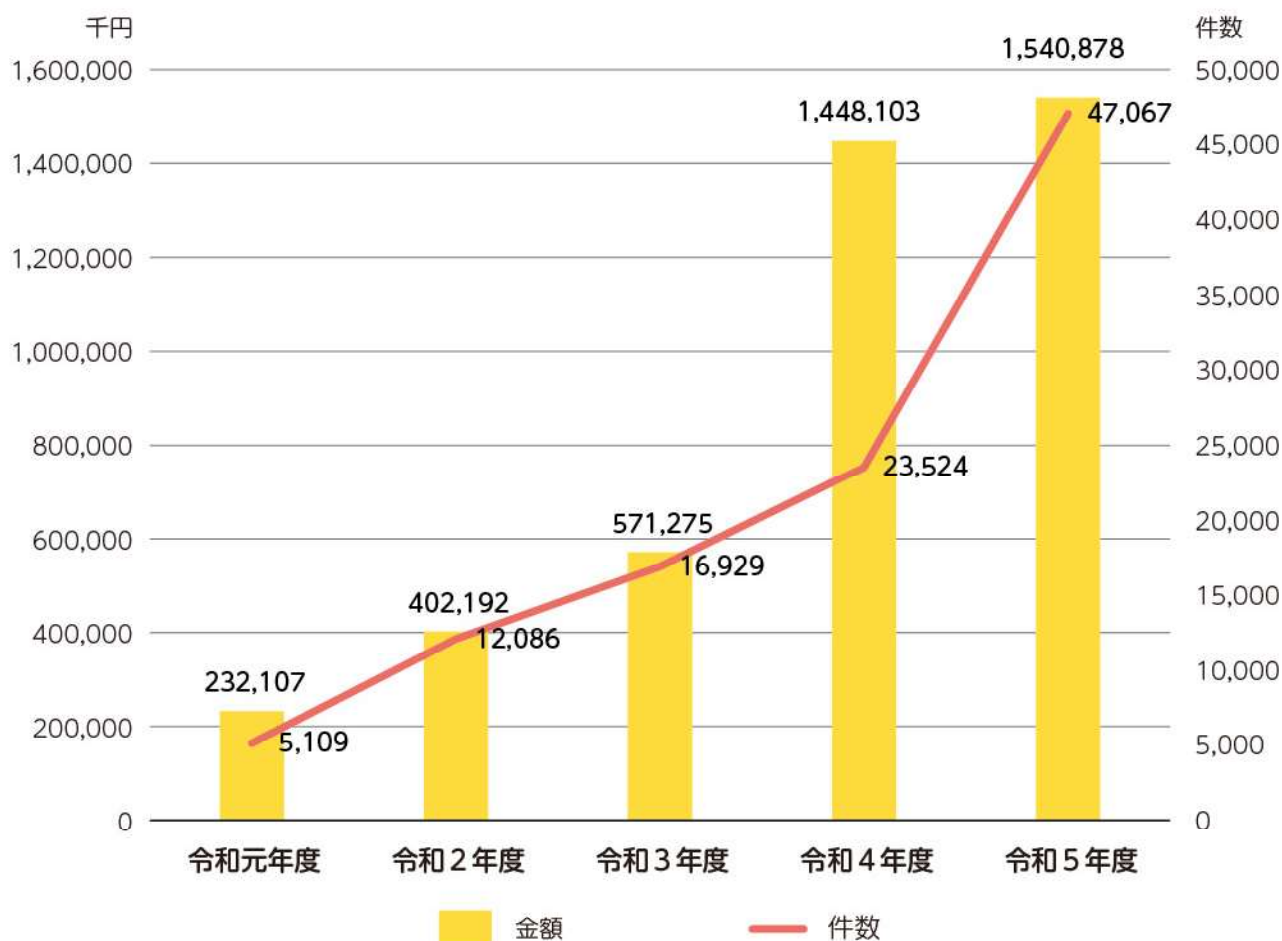


ふるさと納税金額及び件数の推移 (各年度3月末現在)

企業版

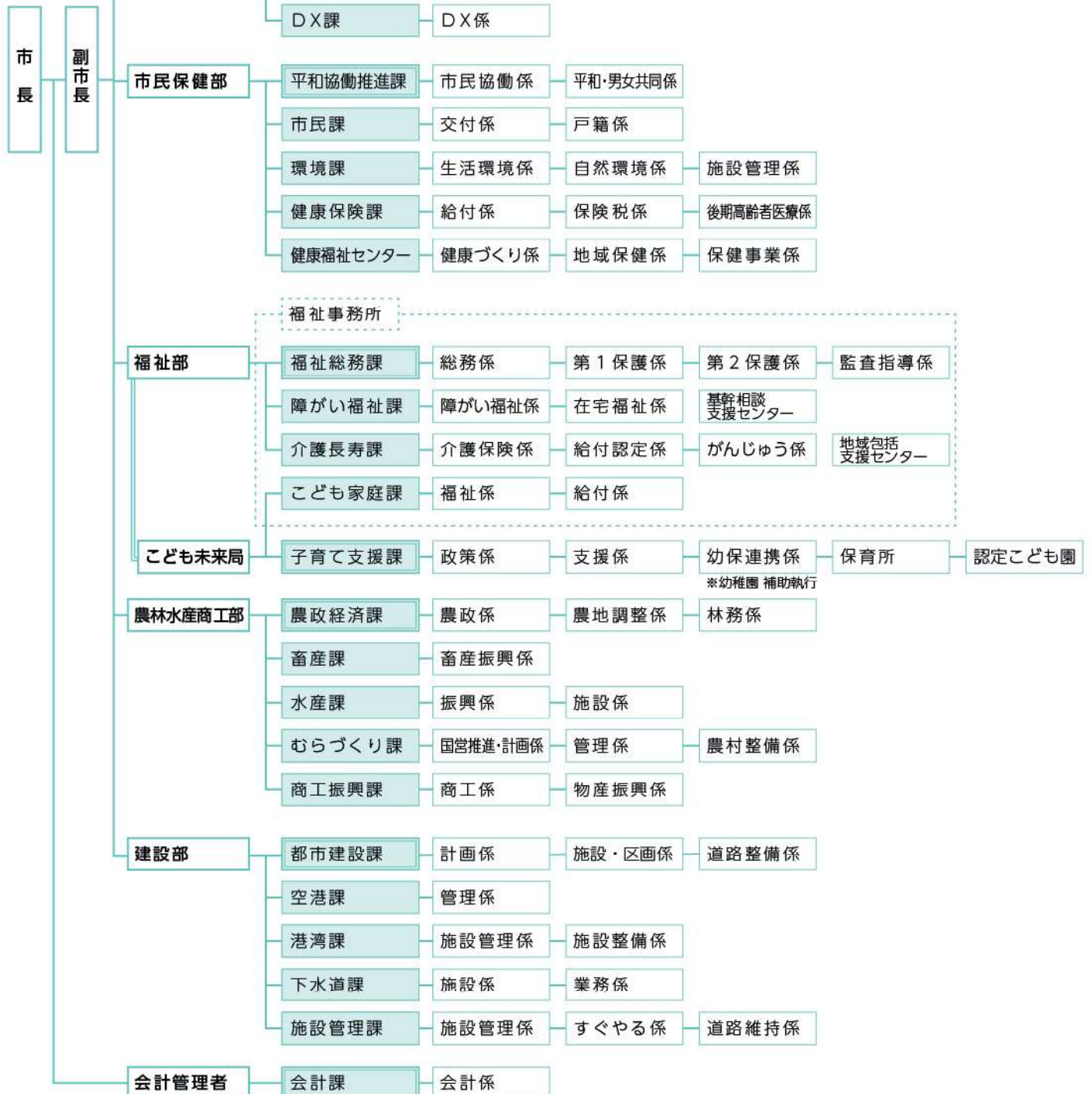


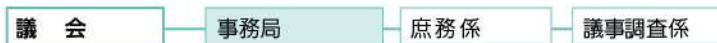
個人版



組織機構図（令和5年4月施行）

は筆頭課



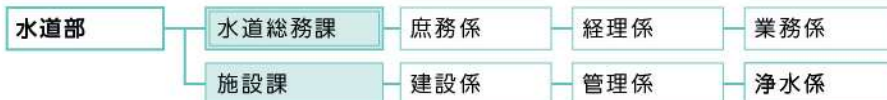
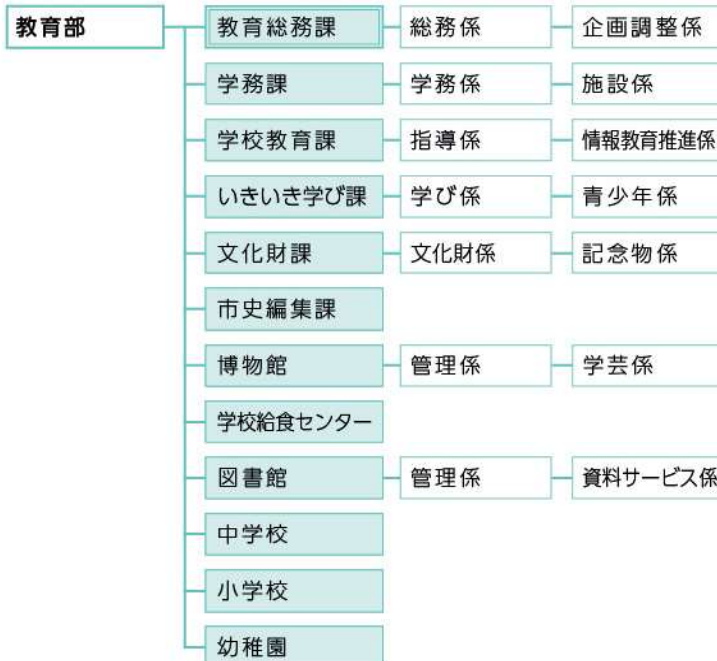


各行政委員会



教育委員会

教育長





石垣島地図



